

2022年6月28日

セブンイレブン・マレーシア・ホールディングス(SEVE) 「セブン・カフェ」の本格展開で生鮮食品も成長、大票田 インドネシア薬局市場は「ウエリングス」ブランドで展開

マレーシア | 食品・医薬品小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG SEM:MK | REUTERS SEVE.KL

- 2022/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比27.8%増、粗利益率が同0.9ポイント上昇、営業利益が同76.2%増、純利益が同2.1倍。
- 今年1月に国家回復計画が第4段階に移行。州を跨ぐ移動を含めた消費活動再開、および営業時間の延長が業績回復に繋がった。
- コンビニエンス事業では「セブン・カフェ」本格展開、薬局事業では「ウエリングス」でのインドネシア展開が今後の成長を牽引しよう。

What is the news?

5/26発表の2022/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比27.8%増の8.39億MYR、粗利益率が同0.9ポイント上昇の27.7%、営業利益が同76.2%増の61.9百万MYR、純利益が同2.1倍の24.4百万MYRだった。今年1月に政府による新型コロナ対応の「国家回復計画」が、州を跨ぐ移動を含めて殆どの経済・社会活動の再開を伴う「第4段階」に移行。消費関連活動も再開され、営業時間が伸びたことを受けて業績が回復した。

1Qのセグメント別の業績は以下の通り。①コンビニエンスストア事業は、売上高が前年同期比16.7%増の5.23億MYR、一時的項目の影響を除くコア純利益が同63.0%増の16.6百万MYR。店舗当たり1日平均売上高および来店顧客数が増加し、既存店売上高が同15.2%となった。②同社傘下のケアリング・ファーマシー・グループが担う薬局事業は、消費者が個人の幸福と総合的な健康に関心を持つ傾向が続く中で、売上高が同51.9%増の3.16億MYR、コア純利益が同3.1倍の19.7百万MYR。環境を意識したブルー・オーシャン社の製品取扱いにより粗利益率が3.0ポイント上昇の22.6%に改善した。

How do we view this?

マレーシアでは今年4月からワクチン接種2回を条件に、新型コロナに係る入国後の隔離措置が撤廃され、国境が開放された。更に、営業時間を短縮する規制も撤廃。同社への追い風が続くと見られる。

コンビニエンスストア事業では、日本でも好評な「セブン・カフェ」付き店舗を本格展開しており、1Qには15店舗をセブン・カフェ付きに改装。カフェは生鮮食料品と一緒に購買されることが多く、生産性が高まると見込まれる。セブン・カフェ付き店舗の本格展開により生鮮食料品の分野も成長が期待される。

新型コロナ感染拡大時も業績を下支えした薬局事業は、ケアリング・ファーマシーが2020年に買収した「ピル・ハウス」および「ウエリングス」とともに市場シェアの拡大を目指す戦略だ。更に、この「ウエリングス」ブランドを展開し、同社は人口約2億7千万人の巨大市場である隣国のインドネシア市場への新規参入を検討しており、買収先の「ウエリングス」ブランドで展開を図る方針である。

業績推移

※参考レート 1MYR=30.64円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高(百万MYR)	2,361	2,539	2,808	3,115	3,374
当期利益(百万MYR)	54	29	44	90	97
EPS(MYR)	0.05	0.03	0.04	0.08	0.09
PER(倍)	27.80	46.33	34.75	17.38	15.44
BPS(MYR)	0.09	0.06	0.08	0.12	0.16
PBR(倍)	15.44	23.17	17.38	11.58	8.69
配当(MYR)	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04
配当利回り(%)	1.73	1.65	1.15	2.88	2.88

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR) **0.04** (予想はBloomberg)
終値(MYR) **1.39** 2022/6/27

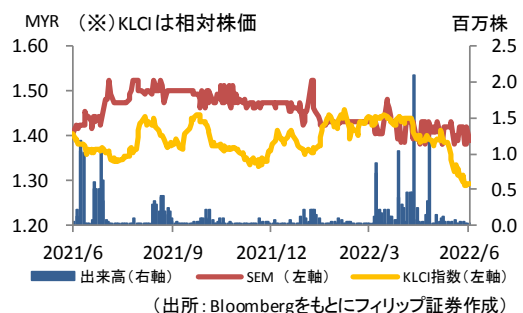
会社概要

1984年設立のマレーシア最大のコンビニエンスストアチェーン。産業コングロマリット大手のベルジャヤ・グループ傘下の企業。「セブンイレブン」加盟店の第1号店を1984年にクアラルンプールで出店。2020年12月末現在、マレーシアで2,413店舗を展開している。Slurpee やBig Gulpといった同社独自のブランドを含め、2,200以上の製品ラインアップを提供する。

2020年に、薬局チェーン店を展開するマレーシア首位のケアリング・ファーマシー・グループを買収。店舗数は2024年までにマレーシアで200店に拡大する見通しである。ケアリングファーマシーはモバイルアプリを介したポイントサービスが人気のドラッグストアのブランドであり、ネット通販事業に定評がある。

企業データ (2022/6/28)

ベータ値 0.28
時価総額(百万MYR) 1,566
企業価値=EV(百万MYR) 2,742
3か月平均売買代金(百万MYR) 0.3



主要株主(2022/6) (%)
1. Tan Chee Yioun 24.54
2. CLASSIC UNION GROUP LTD 20.54
3. TRUE ASCEND SDN 8.49
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhito.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。